

講義コード	11C0382501	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	元木 靖	開講期	通年
科目名	環境政策				元木 靖			通年	
履修前提条件					備考				
授業の目的	この講義では、環境政策を個別の環境問題を解決するための技術政策としてではなく、自然-人間関係をめぐる社会変容の問題に対処していくための総合的政策として捉え、基礎的な理解を深めることを目指します。第1期では基本的な論点と事例を挙げて紹介し、第2期では多様な環境問題を取り上げ解説します。								
到達目標	①「環境」とは何か、についての基本的・原理的な理解ができる。 ②「環境政策」とはどのような学問分野かについて理解し、併せて環境政策がもつべき総合性について、具体的なイメージを発想することができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	この科目では、120時間以上の授業外学修を行うこと。講義はシラバスの計画に沿って進めるので、各回のテーマについて事前に関連図書、インターネット、新聞情報等を通して、各自が問題関心をもって講義に参加するように心がけること。								
授業計画	【第1回】はじめに－講義のすすめかた－ 【第2回】人類の「環境」と食の関係について 【第3回】「環境」とはなにか？－漢字の「環境」について 【第4回】ヨーロッパにおける「環境」の考え方と変化 【第5回】環境政策としての人口と農地（食糧）開発 【第6回】文明発展と「環境」開発の関係－土地開発から地域開発へ 【第7回】食をめぐる環境観の変遷－日本に即して考える 【第8回】グローバル経済時代の食をめぐる環境意識と政策 【第9回】イギリス－食糧・環境政策の転換について 【第10回】アメリカ－問われ始めた新しい食の運動 【第11回】中国－農業・食糧問題に関する諸見解 【第12回】インド－経済発展に伴い変わり始めた食の環境 【第13回】日本－「食」をめぐる現代の環境政策の課題 【第14回】《質問と討論》 【第15回】まとめ 【第16回】「環境問題」の諸側面について考える 【第17回】環境問題の取り上げ方－個別事象と総合的事象 【第18回】環境問題としての災害の分類 【第19回】環境基準と環境問題の総合性 【第20回】目に見える環境破壊－自然災害 【第21回】目に見えない〔にくい〕環境破壊－人為災害 【第22回】潜在化する環境問題－冷害問題の事例から 【第23回】小さな、あるいは身近な環境問題－ゴミ問題の本質 【第24回】広域、あるいは地球規模の環境問題－大きくなりすぎた人類圏 【第25回】伝統社会における環境観と環境問題－生存のための適応 【第26回】現代の貧困社会と環境問題－格差によるしわ寄せ 【第27回】世界の環境問題と世界「環境の日」の制定 【第28回】日本の環境政策：環境基本法 【第29回】《質問と討論》 【第30回】まとめ								
成績評価の方法	レポートまたはテスト（80％）と授業への取り組み姿勢（20％）による。								
フィードバックの内容									
教科書	なし								
指定図書	『環境経済学入門－経済成長と環境破壊－』白井義彦訳（東京大学出版会）1975年、『環境学 第3版』市川定夫（藤原書店）1999年、『環境経済・政策学の基礎知識』環境経済政策学会（有斐閣）2006年、『食の環境変化－日本社会の農業的課題－』元木 靖（古今書院）2006年、『サステナビリティの経済学 人間の福祉と自然環境』植田和弘訳（岩波書店）2006年、『中国変容論－食の基盤と環境－』元木 靖（海青社）2013年、『クリと日本文明』元木 靖（海青社）2016年								
参考書	21世紀資本主義世界のフロンティア』五味・元木・苑・北原編（批評社）2017年、『他は適宜紹介します。』								
教員からのお知らせ	地域環境学A、B（あるいは、AまたはB）を合わせて聴講することで、環境に関する理解をさらに深めることが期待できます。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									